学校運営協議会 議事録

校名	府立東淀川支援学校
校長名	太田 正義

開催日時	令和2年7月7日(火) 10:00~12:00
開催場所	大阪府立東淀川支援学校 図書室
出席者(委員)	奥山会長、岩下委員、末浪委員、中上委員、藤澤委員
出席者(学校)	太田校長、久井教頭、川村教頭、加藤事務長、石田首席
傍聴者	なし
協議資料	次第、令和2年度学校経営計画、学校運営協議会実施要領、
	傍聴に関する要領、学校要覧、学校案内、委員名簿
備考	

議題等(次第順)

委員紹介

会長選出

議事「学校経営計画に関する事項

年間計画

協議内容・承認事項等(意見の概要)

(校長)新型コロナウイルスに関する授業・行事等の対応についての口頭説明と本校の教育活動・指導の取組みについてパワーポイントを使った説明。

本年度の学校経営計画・学校の取組みについて、以下のような質疑応答および意見、要望が出された。

- (問)新型コロナウイルス感染防止としてマスクの着用ができない子どもに対する対応はどうしているか。
- ・フェイスシールドやソーシャルディスタンスを活用して理解が得られるように対応している。
- (問)学校休業中の教職員の勤務や研修にどのように取り組んでいるか。
- テレワークが認められ教材や資料作成に取り組んでいる。
- (問)2学期制を検討されているがメリットは何か。
- ・目標設定を保護者と十分に行うことができ5か月間で丁寧に取り組み評価することでができる。
- (意見)保護者によって意見が違うが納得いくように説明してほしい。
- (意見)地域の学校として交流が充実している。地域の学校から中学部に入学した生徒がいる。中学校卒業後の 進路について保護者と検討し支援学校への入学に至った。今後より連携し、助言をお願いしたい。
- (意見)コロナの影響により「キャリア教育」の考え方を見直す機会になる。リモートの活用、会社に行かずに働くこと、AIの活用が見直される。ステイホームのテレワークから、結果を出すテレワークへの目的変更が必要である。
- (意見)知的障がい者の仕事としてバックヤードが多い、テレワークの時代に靴磨きをなぜ行うのか就労につなげるためのコース制だと思う。自転車メンテナンスをしているが他の作業も考えるべきではないか。
- ・作業活動を通じて集中力の維持が学べる。農園芸での収穫、販売学習などが考えられるがまだ量や販売への 課題がある。
- (意見)地域との交流、防災など、地域の住民とかかわる交流の方法を考える必要がある。災害時には避難者の対応や障がい者の対応などコロナの関係上、支援学校でも避難所の開設が必要となる。
- ・地域交流が進められるよう連携していきたい。
- (問)個別の教育支援計画について卒業前の実習・面談で活用できるのか。
- 保護者と一緒に作成しているものであり、保護者の同意があれば活用できるようになっている。
- (意見)学校経営計画の中の「防災」は安全体制としての取り組みであり、教員の超過勤務、働きやすい職場、施設設備としては表記がわかりにくい。
- ・放課後デイサービスの事業所が増加し下校時の対応に時間がかかっていることやコロナウイルス感染防止の ための消毒作業が増えていること、その他関係の会議がその後に行われることが重なっている。、
- (意見)放課後等デイサービスの送迎車の交通整理は事業所の仕事である。事業所に協力者を求め教員の労働 を適正にする必要がある。

次回の会議日程	
日時	令和 10月末~11月 10時~12時 (予定)
会場	大阪府立東淀川支援学校